

年金制度を理解していただくための取組について

1. 意義・目的

年金制度の安定的な運営を図るために、国民が年金制度に抱いている漠然とした不信感を払拭し、年金制度に対する信頼を醸成することが急務となっている。

2. 現状の年金広報の概要

年金広報の主な活動展開

- わかりやすい年金制度の説明（COMIC公的年金の配布）
- 秋の年金週間や年度末の集中広報において新聞等を中心とした広報を展開
- チラシ等を作成し、通知書類に同封、戸別配布することによる広報を展開
- 市区町村等が発行する機関誌への広告掲載依頼及び記者クラブ等への情報提供
- 社会保険庁ホームページでの広報

3. 課題

- 従来、国民年金保険料の未納者に対する保険料収納対策をバックアップするための広報が中心となることが多く、国民年金保険料の優良納付者や厚生年金保険の被保険者に対する広報が不足している。
- 対象者や目的に応じた的確な広報を行うための訴求ポイントを整理した統一的な広報素材が作成されていない。
- 年金制度に対する関心は非常に高いものの、年金制度は複雑であるとの先入観から、年金制度の仕組みについて理解が得にくい状況となっている。
- 現状は、平成16年年金制度改正の内容を広報することが中心となっているため、年金制度の基礎的事項や優位性を広報する機会が少なくなっている。

4. 年金制度を理解していただくための取り組み

(1) 国民年金の優良納付者・厚生年金保険の被保険者への広報

必要最小限に知っておいていただきたい年金制度の仕組みについて、年金受給者に配布している「年金受給者のしおり」と同様のイメージの「年金被保険者のしおり」を作成し、年金手帳の発送時に同封するなどして被保険者へ配布する。

- ・ 公的年金制度の仕組み
- ・ 各種手続の方法
- ・ 保険事故と年金給付
- ・ 年金相談窓口の紹介 など

(2) 国民年金の広報素材の作成

国民年金の実力、安心、お得などの訴求ポイントを解説した「総合カタログ」や、被保険者の個々の関心事項に適切に応えられる「目的別パンフ」を作成する。

- ・ 年金制度の意義役割（世代間扶養）
- ・ 年金制度に対する不信感の払拭（負担と給付のバランスをとる仕組みの導入）
- ・ 公的年金の優位性（障害・遺族給付、終身年金、国庫負担（受取額 1.7 倍以上）、税制上の優遇等）
- ・ 年金制度の重要性については、「もしも年金がなかったら」といった逆説的な説明も検討
- ・ 「目的別パンフ」は、学生、新規加入者等の対象者別、口座振替、任意加入等の目的別に作成

(3) わかりやすい広報の実施

- ・ わかりやすい言葉で説明
- ・ 専門用語を極力控えた説明
- ・ 言葉を少なくし、図解などによる説明

説明が不足する点はホームページへの案内を行う
⇒ 「詳しくは、<http://www.sia.go.jp/x x x x>まで」など

- ・ ビジュアルに年金制度が理解できるように、ネット番組を作成しホームページ上で配信を行う
- ・ 将来年金制度を担う子供たちからの理解を得るために、ホームページにキッズページを作成

5. 実施方法

